

<目的>

官民連携事業の推進に向けた、事業段階別の情報整備手法のあり方と簡便にVFM等を把握・算定する手法の検討

官民連携事業の導入検討プロセスにおいて、施設管理者や民間事業者、地域・住民等が当該事業の効果を適切かつ容易に理解し、導入可能性を評価することができるよう、国交省関連PFI事業事例における効果算定状況の実態調査や文献調査等を踏まえ、事業段階別の情報整備手法のあり方を整理するとともに、簡便にVFM等を把握・算定する手法等を検討した。

<検討結果>

先行事例での直接効果、間接・波及効果の実績(効果実績、算定方法)を整理し、各効果の情報整備手法等を検討

【国土交通省関連PFI事業等の直接効果及び間接・波及効果の実態把握等】 先行する国土交通省関連PFI事業における、官民連携事業の直接効果(VFM)及び間接・波及効果(サービス水準の向上等)の実態及びその定量化方法を把握。合わせて英国における官民連携事業に係る効果算定方法で、我が国に参考となる点を把握。

【事業段階別の情報整備手法のあり方等】 VFM等の直接効果や間接・波及効果を適切に評価するための課題として、評価を行うための条件設定の考え方や評価方法の体系化とともに、それに係る情報の蓄積が不足しているという課題設定に立ち、VFM等の直接効果の算定に係る条件設定の考え方、及び間接・波及効果の定性的評価又は定量的評価の考え方を整理。加えて効果を簡便に評価するためのツールとして、VFM簡易算定モデルと間接・波及効果のチェックリストを構築。

【図表1 VFM簡易算定モデル】

■ 基本情報

セルの色分け凡例

- Step 1から入力する基本条件
- Step 2、3から入力する支出、収入関連の項目
- Step 2から入力する金利等の項目(デフォルト数値が入力される)

1. 事業主体

事業主体	国	都道府県	市町村

2. 事業方式

事業方式	BTO	BOT

3. 事業期間

事業期間	施設整備期間	維持管理・運営期間

4. 支出項目

(単位: 千円)

	従来方式 (PSC)	PFI方式 (右側数値は費用削減率)
施設整備期間SPC運営費用(年額)【税込】		
施設整備費用(合計額)【税込】		
設計費用(総額)【税込】		
建設費用(総額)【税込】		
工事監理費用(総額)【税込】		
大規模修繕費用(事業期間中総額)【税込】		
維持管理・運営費用(総額)【税込】		
維持管理費用(年額)【税込】		
運営費用(年額)【税込】		
維持管理・運営期間SPC運営費用(年額)【税込】		
SPC設立費用【税込】		
アドバイザー費用等【税込】		
モニタリング費用(施設整備期間中)【税込】		
モニタリング費用(維持管理・運営期間中)【税込】		
間接コスト		

【図表2 定性評価チェックリスト】

効果類型	効果名称	【凡例】過去のPFI事業で当該間接波及効果が実現された事業の割合														
		都市公園	下水道関連施設	浄化槽	河川関連施設	空港・空港関連施設	港湾関連施設	道路	道の駅	駐車場・駐輪場	市街地再開発	官庁施設等	公営住宅・宿舎	教育・文化関連施設	その他	複合施設
効果3	サービス水準の維持・向上	◎	◎	×	◎	◎	◎	△	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎
効果4	住民が享受するサービス水準の向上	○	×	◎	×	×	△	△	△	○	○	◎	△	△	△	○
効果5	地域活性化効果の増大	△	×	×	◎	△	○	△	△	△	△	△	△	△	×	△
効果6	地域企業の事業機会、収益の発生	△	×	×	×	△	×	×	×	△	×	△	△	△	×	×
効果7	公共の事務負担の軽減	△	△	×	×	×	×	×	△	×	×	△	△	×	△	△
効果8	公的不動産収入の最大化	△	×	×	◎	×	×	△	×	×	△	△	△	△	×	△
効果9	民間事業による地域活性化	△	×	×	◎	△	△	△	△	×	△	△	△	△	×	△